

各 位

平成 13 年 3 月 2 9 日

## 三井金属、次期中期経営計画（MAP500）を策定

当社三井金属（社長 宮村眞平）は、来年度を初年度とする次期中期経営計画を策定し、4月1日より実行することと致しました。

この中期経営計画は、当社のコア事業を非鉄金属事業から電子材料事業にシフトし、2003年度に連結経常利益500億円を達成することを目標としております。

したがって、「Mitsui Kinzoku Achievement Plan 500」の意味から、本計画を MAP500 とネーミング致しました。また、当社は、これまでの事業運営に対して、今後大きく舵を切ることから、本計画が新たな旅立ちのための MAP であることの意も込めております。

今後当社は、「銅箔」、「TAB テープ」、「機能材料」をコア事業とし、従来からの非鉄金属事業等をその下支えとする事業運営を行って参ります。そのためにコア事業を中心として3年間で約1,180億円（コア事業に約70%投資）の設備投資を行うほか、意思決定の迅速化を図るための執行役員制度の導入、事業構造変革に伴う全社的な組織改編、および事業毎の業績管理を連結ベースで行うための管理連結制度の導入等、事業運営システムの変更を実施致します。

この結果、2003年度の計画値は、連結経常利益505億円（2000年度予想370億円）、連結売上高5,000億円（2000年度予想4,140億円）となり、新たなコア事業の営業利益は、全体の約70%を占めることとなります。

また、これまで取り組んで参りました連結財務体質の改善も、棚卸資産圧縮等を含めてさらに努力し、3ヵ年で有利子負債残高（2000年度末見込2,182億円）を約630億円削減し、2003年度末には有利子負債1,550億円まで圧縮致します。これにより、株主資本比率（2000年度末見込約24%）は約38%になる見込みです。

なお、「執行役員制度の導入」および「全社的組織改編」につきましては、別途発表させていただきます。

以上

本件お問い合わせ先

三井金属 広報室 かのえ 鹿江政二

Telephone 03-5437-8028